

あけびだより

No. 143

2016年9月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

平成28年9月



絵手紙教室

木下 素子 氏

i P S他家移植 慎重な手続きで前進を

患者自身の細胞から i P S 細胞 (人工多能性幹細胞) を作り、ここから治療用の細胞・組織を作って患者に移植する。拒絶反応を回避できる点で i P S 細胞利用の利点とされてきた方法である。

ただし、そこには弱点がある。一人一人の患者にあわせてオーダーメイドの i P S 細胞を作るには膨大な手間ひまやコストがかかり、品質管理も難しい。

そうした自家移植の弱点を克服しようと京都大の山中伸弥教授らが進めてきたのが他人の細胞を備蓄して使う「i P S 細胞ストック」だ。理化学研究所や神戸市立医療センター中央市民病院などは来年前半、これを利用した「他家(たか)移植」の臨床研究を始める計画を公表した。

i P S 細胞を使った再生医療の実現に一步近づくと期待される一方、こうした試みは始まったばかりである。

理研チームは2014年9月、目の網膜の障害で視野が暗くなったりゆがんだりする加齢黄斑変性の患者に、患者自身の皮膚から i P S 細胞を経て作った網膜色素上皮細胞を移植した。これを皮切りに複数の患者への臨床研究が計画されていたが、2例目で患者の i P S 細胞に遺伝子変異が見つかり、移植を見送った。

今回の計画では京都大から i P S 細胞ストックの提供を受けて理研が網膜細胞に変化させ、中央市民病院と大阪大で加齢黄斑変性の患者に移植する。自家移植と違い、移植までの待機時間が短縮でき、コストも大幅に削減できるという。

患者への移植とは別に、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) やパーキンソン病など難病患者の i P S 細胞を使って病気を細胞レベルで再現し、原因究明につなげたり、新薬の開発に役立てたりする研究も進められている。移植による再生医療より広がり大きい分野だと考えられ、こちらにも力を入れてほしい。難病克服には i P S 細胞以外の治療法開発も重要で、予算の配分や研究体制のバランスを取ることも必要だ。

(毎日新聞6月8日社説より)

NPO法人あけび 事務所

就労継続支援B型ワークハウスあけび
〒670-0948 姫路市北条宮の町215番地
TEL 079-287-1025 FAX 079-287-1026
Mail: day@akebi.or.jp

特定非営利活動法人あけび

通所介護施設デイサービスあけびの実
〒670-0804 姫路市保城363番地の3
TEL 079-280-6931 FAX 079-280-6932
Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪
〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1
TEL079-284-0055 FAX079-284-0056
Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実



納涼



納涼祭を開催しました。今年も2名のご家族に参加して頂き、おにぎり作りなど、など、お手伝いして頂きました。盆踊りの曲をバックミュージックに、テーブルバイキングをお腹いっぱいいただきました。第二部は、盆踊りと銭太鼓でした。夏の暑さも吹っ飛ばすような楽しい会になりました。

ご家族様からのお便り

納涼祭と誕生日会にお招き頂いて誠に有難うございました。お昼のバイキング、美味しくお腹一杯になるまでいただきご馳走様になりました。盆踊り、パレー、など楽しく、自分の年のことも忘れて一生懸命になり、汗もにじむ程でした。夕方、自宅へ帰って思い出して恥ずかしくなりました。本当に楽しい一日、心より感謝申し上げます。(和田)

本日は、納涼祭、誕生日会と盛り沢山の“催”に参加させて頂きまして有難うございました。うれしさの余り言葉にならず、職員の皆様方に十分なお礼の言葉も申し上げられずに終わってしまいましたが、時の経つのも忘れ楽しく一日を過ごさせて頂き“ありがとう”ございました。(松下)

お出かけ



ヤマザ蒲鉾の工場近くに行きた、夢のそばに外食に行きました。今回は、ちょっとリッチに会席料理をいただきながら、誕生日のお祝いをしました。お店の方もとても親切で楽しい外食になりました。次はどこに行きましょう？

社交ダンス部



社交ダンス部に、2名も部員が増えました。今回は待望の男性部員も入り、楽しく活動しています。“足が出にくい”や“姿勢が歪んでいる”方も優雅に踊られています。リズムにのって体を動かすのは本当に楽しいですね。

杉下先生の嚙下指導一口メモ
杉下先生のお話を2点紹介します。
①ほとんどの方が何錠ものお薬を一口で飲んでいますが、誤嚥の可能性がありま
す。1錠ずつ丁寧に確実に飲みましょう。
②一日を通して、水分(水・お茶)をしっかり摂取しましょう。脱水症状を起こすと、悪性症候群など症状の悪化につながります。トイレの回数が増えてもリハビリととらえて下さいね。

八月も終り
近し涼風よ
長塚



成せばなる
やらねばならぬ
リハビリか
長塚

祭

あけびの輪



夏祭り！ということでお昼は手巻き寿司&かき氷、午後からは段文音頭保存会の皆さんと一緒に盆踊りを楽しみました。太鼓にも順番に挑戦して迫力ある音を響かせ

ました♪「太鼓たたいたの生まれて初めてや〜」踊りと太鼓を十分に堪能して、この日はよく眠れたのでは？大西さんの播州音頭もイイ感じでしたよ。

趣味の会



ギターを家から持参し、演奏に合わせて皆で歌ったりして楽しいひとときを過ごすのも良いものですね♪
コカリナ・ハーモニカも進行中

今年の夏はオリンピックの話題で、連日熱く盛り上がりました。日本代表選手たちの活躍も素晴らしかったですね〜！
水泳・卓球・テニス・柔道・レスリング・バドミントン・陸上…あけびでも負けずに運動に励んでます(^-^)



オセロは男女問わず、気軽にできて頭の体操にもなるのでぜひ皆さんやってみましょう。おでこにくっ付けて遊ぶものではありませんが(笑)

マッサージ中。両手…じゃなくて“両足に花”でご満悦!?

8月施設対抗

ビーチボールバレー競争

記録発表

輪	8月5日(金)	783回
実	8月13日(土)	500回
ワーク	8月4日(木)	1,103回

介護保険見直し

介護保険が今どんどん見直されています。要支援1・2が外され、要介護1・2も外す方向で検討されています。利用料は一定所得者に対して1割から2割になっていますが、所得に関係なく2割に引き上げが予定されています。施設に入居していても低所得者に対する食費、居住費の補助なども打ち切られ、退所せざるを得ない人も出てきています。一方介護保険料は上がりつづけ、大企業社員の保険料に「総報酬割」も導入されようとしています。介護の社会化として2000年に始まった「介護保険制度」。なくてはならない制度に浸透してきた今、際限のない負担増とサービス切り捨てはやめて、誰もが必要なサービスを受けられるように、そんな制度に見直してほしいものです。

ワークハウスあけび

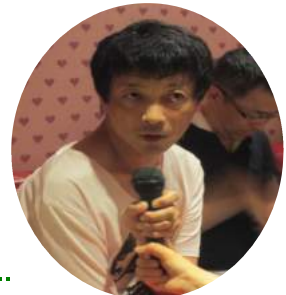
ワークの仕事



4月から取り組んできた「素麺の箱折り」の仕事も、8月の初旬で無事に終わりました。現在は、「出し昆布の袋詰め」の仕事を再開してありますが、準備→作業→後片付けの一連の流れも定着し、出来るだけ“お客様にならない”“自発的に取り組む”を目標にしています。ちなみに、ワークで実際に箱折りした箱で商品として販売されてる現物を持って来られました。素敵な商品となって販売されている事をととても嬉しく思いました。いつもながらの事ですが、「又、来年も宜しくお願いします。」と言って頂いたことに、ワークで一丸となって一生懸命取り組んできたからこそのお言葉なんだなと思えました。お仕事を継続させて頂く事をワーク一同感謝しています。

ワークのお出掛け

お知らせ
すこやかセンターバザー
9月15日(木)



長らくご無沙汰していたカラオケに行こうという事になり、PonPocoへ行って来ました。

カラオケは何十年ぶりだと言われる山根さんの歌を、みんな初めて聞かせていただきましたが、唯一、“ワークの歌手”と言わんばかりの歌声で拍手喝采でした。一人3曲から4曲位歌われ、ファイナーは、みんなで順番に「青春時代」「泳げたい焼きくん」「YMCA」を歌い、「サライ」で締めました。

ちなみに、PonPocoの受付の店員さんが、俳優の「藤木直人」によく似た2枚目なのは驚きでした。

近年とくに要望の声が上がっている入居施設や共同住宅。患者さんの“暮らし”全体がきちんと成り立つような支援を考えると、これまで日中の（デイ）サービスを中心に行ってきた“あけび”にとっても、改めて入居施設の必要性を感じるようになってきています。7月号の紙面でもお知らせしましたが、患者さんにとって“家で生活するのと変わらず出来るだけ自由な環境の中で暮らせる”そんなイメージに合った物件に幸い出会えたことから、あけびの特色を活かした雰囲気施設の施設（家）を作り上げていけるよう、現在前向きに進めています。併せて、入居される方に必要なケア・介護の充実も目指しています。



9月11日に臨時総会を開き検討して頂く予定になっています。決まれば、入居を検討されている方もそうでない方も・・・実現のために皆様のご協力をぜひ宜しくお願いいたします

講演と医療相談会のお知らせ

友の会姫路ブロック交流会

9月交流会は休みです。

医療相談会
日時 9月22日 [木] 13:00～
場所 あけび
宇多野病院 水田英二先生
申し込みが必要です。
tel 079-287-1025

講演と医療相談会
日時 9月10日 [土] 13:45～ 16:45
場所 龍野経済交流センター 2階
宇多野病院 水田英二先生
西播磨病院 中谷言語聴覚士
tel 0791-63-5686 fax 0791-64-5557

秋になつて講演会や相談会が多く取り組まれています。案内が送られてきている分もあると思いますが、詳しいことはお問い合わせください

医療相談会
日時 9月25日 [日] 13:00～
場所 和田山公民館
宇多野病院 水田英二先生
(兵庫県難病連)
tel 079-672-1000

講演と医療相談会
日時 10月1日 [土] 13:00～15:30
場所 イーグレひめじ 4階
県立尼崎病院 神経内科 山田隆平先生
(姫路市難病連) *要 申込
tel 079-289-1680 fax 079-289-1688



「卓球クラブ」
9月の練習日

9月6日(火)9月20日(火)

場所：ルネス花北体育館

連絡は北村・長谷川まで(287-1025)